



## \* ふれあい看護体験を開催しました \*

平成26年7月23日(水)に、ふれあい看護体験を開催いたしました。



## \* 第7回下関厚生病院OG会に思うこと \*

昨日、名誉会長 福村昭信歌集「塔に流れる星」、「医と薔薇」の冊子が送られて来ました。

ウィリアム・モリス愛せし村の家バラに囲まれライム・イエローピーターラビット物語生みしヒルトップ茶色のうさぎに妻は手を振る

歌集「喜寿イギリスの旅 八首」の中から、選びました。

名誉会長 福村昭信先生の安らかな眠りにつかれますよう、あらためて心からお祈りいたします。

厚生病院は、新年度から「下関医療センター」と組織が変わり、OG会も新体制での開催となりました。

予算案について三回、料理の試食会一回、参加の勧誘、予算と進行、役割について、計五回の会合で運営されました。

下関医療センターから、佐々木院長を始め事務部長、薬剤科長、副看護部長、業務課長、総務企画課長の来賓により、たいへん賑やかに楽しく懇親を深めることが出来ました。欠かさず出席の顔を見れば安心、初めて参加の人を見れば懐かしい、医療情報は医師や看護師のアドバイスを、近々のことは会員と。マジシャン池内さんの奇術、タイミングのずれたところが見せどころ、カラオケの意外性は、とても魅力的でした。

これからも、会長 沖田極先生の元、みなさんのご協力によりOG会の充実をはかり伝え続けることが大切と思っています。

尚、会名の変更が急務となっています、良い案があればお知らせ下さい。

会員の多数の参加と、会費はATMにて納入をお願いいたします。

平成26年9月13日 清水 恒治



## \* 今後の病院行事のご案内 \*

### 肝臓病教室 【一般の方向け】

- 10/24(金) 「食事アップデート2!」～肝臓病と食事～  
講師：下関医療センター 肝臓病センター 栄養治療部
- 11/28(金) 「薬アップデート!」～肝臓病薬の効果と副作用～  
講師：下関医療センター 肝臓病センター 薬剤科
- 12/19(金) 「オールアップデート!」～疑問・質問にお答えします。～  
講師：下関医療センター 肝臓病センター 山下 智省
- 14:00～15:00 場所：健康管理センター 4階大ホール

### 臨床栄養勉強会 知らなきゃソソ塾 【医療従事者向け】

- 11/20(木) 会場：関門医療センター  
18:30～
- 12/18(木) 会場：昭和病院  
18:30～
- 1/15(木) 会場：豊浦病院  
18:30～



# 馬肉医心

ばかんいしん

vol.3  
2014  
秋号



## I N D E X

- 放射線科ご紹介 ..... P2~P3  
新入医師の紹介
- ふれあい介護体験を開催しました ..... P4  
第7回下関厚生病院OG会に思うこと 今後の病院行事のご案内

PHOTO/白杵 白馬溪(大分)

### 【理 念】

最新の知識と医療レベルを駆使して、地域住民に誠心誠意奉仕します

### 【基本方針】

1. 病める人の立場に立ち全人的医療を実践します
2. 地域連携を推進し、地域に密着した医療を展開します
3. 良質・最新の医療を提供するため、日々の研鑽と人材育成に努めます

独立行政法人地域医療機能推進機構  
下関医療センター

郵便番号750-0061 下関市上新地町3丁目3番8号  
TEL.083-231-5811(代表) FAX.083-223-3077  
TEL.083-231-7887(健康管理センター)

## 放射線科とは

放射線科と聞いてすぐに業務のイメージがわく方は少ないのではないかと思います。放射線科は単純X線写真、CT、MRIなどをはじめとする画像診断と、画像誘導下で行う局所治療（インターベンショナルラジオロジー：IVR）、および放射線治療を行う診療科です。画像診断部門と放射線治療部門とから構成され、当院では画像診断部のみがあります。画像診断部は直接患者を診ることは少なく、医師相手の仕事の多いdoctor's doctorとも言われる科です。このため医療従事者以外にはあまり知られていない科のようです。しかし画像診断機器の発達とともに役割は増し、現在の医療は画像診断なくして成り立ちません。また当院ではIVRの中でも血管内治療と言われる領域を扱っております。血管から挿入したカテーテルと呼ばれる管を病巣部まで誘導し、止血や癌治療などを行います。侵襲性の少ない優れた検査・治療と言えます。



## 画像診断について

CT検査は、X線を体の回りに回転させながら当てて得られた情報をコンピューターで計算し、画像を作る方法です。最近のCTは撮像時間が大幅に短縮し、短時間に体の広い範囲の撮像が可能です。MRIの苦手な骨や肺の観察にも適しています。しかしCT検査では被曝という欠点があります。またMRIよりコントラストが劣ります。

強い磁気の中で電波を体に加えると、体内の水素原子から微弱な電波が発生します。MRI装置はこの微弱な電波を受信してコンピューターにより画像化する装置です。被曝がなく、コントラストも良好です。しかし、一般的に検査の範囲が狭い、検査に時間がかかる、ペースメーカーを埋め込まれている患者さんには施行できない、などの欠点があります。

核医学検査（RI検査）は、少量の放射性物質（ラジオアイソトープ：RI）を含む薬を用いる検査です。この薬が注射や内服などにより体内に入ると、特定の臓器や病変に集まり、放射線を発します。この放射線を特別なカメラで体外から測定し、画像化します。CTやMRIなどは主に臓器の形の異常を観察しますが、核医学検査は臓器の機能（血流、代謝）を捉えることができるという特徴があります。

これら検査の特徴を生かし、患者様の疾患や状態に合わせて、治療の為に必要十分な情報が得られるように検査を行っています。



## 当院における放射線科

他の科でも言えることですが、放射線科も慢性的な人手不足の状態です。当院でも放射線科常勤医が不在の状態が続いておりましたが、今年4月より2名常勤医が赴任し、8年ぶりに科が再開する次第となりました。当院で行われる画像検査はほぼ全て当日の内に読影（画像の所見を読み取り、診断や治療に対して助言を行うこと）されるようになり、緊急性の高い検査に関しては至急で読影を行っております。また当直体制に関しても、主治医の判断が困難な時には365日24時間、iPadを活用した遠隔読影にて即座にコンサルトができるようにしております。また緊急性の高い血管病変（消化管出血、骨盤骨折や臓器損傷による出血）に対しては緊急IVRでの対応を行っております。当院の放射線科は再始動したばかりですが、既に他の中核病院と比較しても遜色ないレベルの業務内容でしょう。

## 放射線科のこれから

画像医学の発展は今後の医療現場の多角的アプローチを実現するために重要なことです。現在もなお画像診断機器やプログラム、およびそれを構築するシステムの進歩は目覚ましく、今後さらにその機能が向上することが確実です。また被曝量低減化の技術も開発が進んでおり、より少ない被曝でのCT検査が可能となるでしょう。ネットワークシステムがさらに発達すれば、複数の病院にて画像データを共有することも可能となります。放射線科の進歩の歴史は常に機器の発達とともにあり、今後はIT技術の発展により放射線科の重要性はさらに増すことになると考えられます。

私達は技術の発展に遅れないように、日々勉強しております。また各画像検査において、放射線被曝を始めとする安全性に十分注意を払って撮影を行い、病気の診断に必要な情報を提供できるように努力しています。スタッフや他科とのコミュニケーションを大切に、最良の診断を行っていただけるよう取り組んでいきたいと思っております。

文責 放射線科 伊藤 賢三



## 新入医師 の紹介



歯科口腔外科

しばた たつし

柴田 龍志

専門分野／歯科口腔外科

所属学会／日本口腔外科学会

【一言メッセージ】

歯に関して悩み事があれば、なんでも相談してください。